（不特定多数の者を対象とする研修［第１号研修及び第２号研修］）

（2026年10月改訂版）

実地研修評価票：喀痰吸引　口腔内・鼻腔内吸引（通常手順）

評価判定基準	
	ア　評価項目について手順どおり実施できている。
	イ　評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。（実施後に指導した。）
	ウ　評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。（見過ごせないレベルであり、その場で指導した。）
	エ　１人での実施を任せられるレベルにはない。

受講者氏名	
本票ページ数	／

回　数　※（　）内に実施研修の実施回数を記入すること			(1) 回目	（　）回目	（　）回目	（　）回目	（　）回目	（　）回目
月　日　※実施研修を実施した月日を記入すること			10／11	／	／	／	／	／
時　間　※実施研修を実施した時刻を記入すること			13:15					
実地研修協力者（イニシャル等）			H.T					
実施手順		評価項目	評価結果	評価結果				
STEP:4 準　備	1	医師の指示等の確認を行う	ア					
	2	手洗いを行う	ア					
	3	必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する	ア					
	4	必要物品を実地研修協力者のもとに運ぶ	ア					
STEP:5 実　施	5	実地研修協力者に吸引の説明をする	ア					
	6	吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える	ア					
	7	口腔内・鼻腔内を観察する	ア					
	8	手袋の着用またはセッシを持つ	ア					
	吸引の実施 9	吸引チューブを清潔に取り出す	ア					
	吸引の実施 10	吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する	ア					
	吸引の実施 11	（浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く	—					
	吸引の実施 12	吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する	ア					
	吸引の実施 13	吸引チューブの先端の水をよく切る	ア					
	吸引の実施 14	実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う	ア					
	吸引の実施 15	適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する	ア					
	吸引の実施 16	適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する	ア					
	吸引の実施 17	吸引チューブを静かに抜く	ア					
	18	吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く	ア					
	19	洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす	ア					
	20	吸引器の電源を切る	ア					
	21	吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す	ア					
	22	手袋をはずす（手袋を使用している場合）またはセッシを戻す	ア					
	23	実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える	ア					
	24	吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する	ア					
	25	実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する	ア					
	26	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する（経鼻経管栄養実施者のみ）	—					
	27	手洗いをする	ア					
STEP:6 報　告	28	吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する	ア					
	29	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する（経鼻経管栄養実施者のみ）	ア					
	30	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）	—					
STEP:7 片づけ	31	吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる	ア					
	32	使用物品を速やかに後片付けまたは交換する	ア					
STEP:8 記　録	33	実施記録を記載する	ア					
アの個数　計			30					
指導看護師のサインまたは印鑑			白寿					

自由記載欄　※指導内容について、裏面評価項目の「評価の視点」の細目レベルで記載してください。

例（ 1）回目	合格
（　）回目	
（　）回目	
（　）回目	
（　）回目	
（　）回目	